

【特別展】日本画に挑んだ精鋭たち

—菱田春草、上村松園、川端龍子から松尾敏男へ—

Special Exhibition The Elites Who Challenged Nihonga

—From Hishida Syunsō, Uemura Shōen and Kawabata Ryūshi to Matsuo Toshio

御舟作品の白眉《名樹散椿》(重要文化財)からネーミングされ、ロゴにも御舟の文字を使用した「Cafe椿」は、美術鑑賞の余韻のなかで、お茶とスイーツ、ランチが楽しめるカフェ。季節や開催中の展覧会にちなんだオリジナルメニューをご用意しています。

特に和菓子は、青山の老舗菓匠「菊家」に特別にオーダーした「Cafe椿」オリジナルです。また、素材と季節感にこだわった、女性にやさしいランチメニューもおすすめです。テーブル、チェア、カウンターなどは、イタリア・カッシーナ・イクスシー社に

特注し、美術館ロビーでおしゃれな佇まいを見せています。ガラス越しにまるでオープンカフェのように季節のうつろいがよく眺められる、静かなスペース。お気軽にお立ち寄りください。

ルーブル Louvre

ルーブル美術館で名画を鑑賞する人々のコートや帽子の明るい色使いをイメージした可愛らしいきんとんです。(黒糖風味大島あん)



結城素明
《巴里風俗のうち
「ルーブル美術館」》
Yūki Somei
In the Louvre Museum
from the series Scenes in Paris



しらつゆ Shiratsuyu

白芙蓉をモチーフにした、端正な和菓子です。夏目漱石の句「白露や芙蓉したたる音すなり」から菓銘をつけました。(こしあん)



速水御舟
《白芙蓉》
Hayami Gyoshū
White Cotton Roses



雪の中 Yuki-no-Naka

しんしんと降る雪の中、女性がさす傘を練切りでかたどりました。中は風味豊かな胡麻入りのこしあんです。(胡麻入りこしあん)

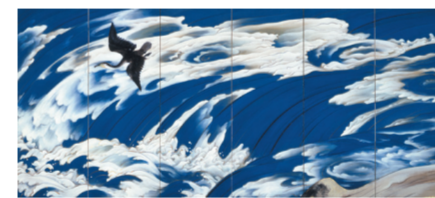


上村松園
《牡丹雪》
Uemura Shōen
Fluffy Snowflakes



波濤 Hatou

大画面いっぱいに描かれた鳴門の景色を白い淡雪羹とブルーの錦玉羹で大胆に表現しました。荒海を飛翔する鶴がアクセント。(淡雪羹・錦玉羹・羊羹)
※卵を使用しています。



川端龍子
《鳴門》(左隻)
Kawabata Ryūshi
Maelstroms at Naruto
(Left screen)



沈む陽 Sizumu-Hi

険しい岩山の連なる異郷に沈む夕日。印象的な光景を和菓子で表しました。白あんを琥珀羹で包んでいます。(琥珀羹・白あん)



山本丘人
《入る日(異郷落日)》
Yamamoto Kyūjin
Setting Sun



※作品はすべて山種美術館蔵

※All works are the property of the Yamatane Museum of Art.

[その他のメニュー]

- ◎ コーヒー(京都・スマート珈琲) ¥750
- ◎ 抹茶 ¥850
- ◎ 丸子紅茶 ¥750
- ◎ 今月のお茶 ¥750
- ◎ お茶セット ¥1,150
- ◎ お抹茶セット ¥1,250
- ◎ ケーキセット ¥1,300
- ◎ 季節のにゅう麺 ¥1,350 など

※和菓子のテイクアウト2個から承ります 1個 ¥660